

山元こぐまサロンに参加して

どらごえサークル 吉田和子

山元こぐまサロンは、NPO 法人ポラリスが“障害のある人とない人が共に学び、共に生きる”をテーマに地域の様々な立場の人と作っている学びの場です。

私たちは、昨年が続いて「音楽を楽しみ、学ぶ～うたで学ぶ 平和のこと～」に、宮城白萩の会（退職女性教職員の会）中央支部の皆さんと参加しました。

第一部、宮城白萩の会20名の皆さんによる戦争についてのお話と演奏で、日本の15年にわたる戦争の歴史を学びました。ロシアによる軍事侵攻や日本も軍備拡大に舵を切ったことが連日報道されていたこともあり、戦争が今そこにある脅威に変わってきていることを会場全体が感じたようでした。

第二部、どらごえサークルは平日の10時という開催にも関わらず19名が参加。「北風小僧の寒太郎」の歌から始まり、旅姿の寒太郎が登場して第一部の重くなった雰囲気吹き飛ばしてくれました（白萩の会の中谷さんに感謝です）。昨年歌った曲を多くした選曲も良かったようで、「そうれっしゃがやってきた」や「ピースサイン」では会場の皆さんが体を動かし、踊って下さいました。最後に「365日の紙飛行機」を歌い、みんなで紙飛行機を飛ばしました。♪人は思うよりもひとりぼっちじゃないんだ すぐそばの優しさに気づかずにいるだけ♪「365日の紙飛行機」の歌詞を会場の皆さんと共にかみしめ、温かい気持ちに満たされて終了しました。



← 第一部 白萩の会
→ 第二部 どらごえサークル



男の合唱まつりに D51 合唱団が出演

→

9日はD51の歌い始めでしたが気持ちよく2023年がスタートできました。スタンバイしていた客席の真ん前が佐賀慶子先生で、びっくりでした。演奏後に佐賀先生から「みんなのつくと全然違ってびっくり！」と誉めていただきました😊一年間歌ってきた二曲なので自信をもって歌えました👍（D51 立山昭仁）



日本のうたごえ交流会 in あいち 音楽会に参加して感じたこと

バックツァーちゃん、素晴らしかったです。同時に愛知のうたごえがこれまで積み重ねて来た歴史の重みを感じました。脚本、作詩・作曲、歌い手、伴奏者、振付等を担う人材がいなければできない訳で、そういった人材をこれまで作り上げて来た取り組みの積み重ねが素晴らしいと思いました。持続可能なうたごえ運動のために次世代を担う人材をいかに育てるかが大事だと思いますので、今後取り組んでいかななくてはなりません。（仙台合唱団 熊谷和男）

↓立山さんがスピーカーを寄付してくださいました。



藪田さんが磨いてくれた換気扇 →
ピカピカですね。窓の棧や、エアコンのフィルターもきれいにお掃除。

お二人に感謝！ありがとうございました。

